

銀行保証付地域オープン型医療機関債の発行

2009年3月末に、特定医療法人財団 青洲会 は、福岡銀行とアドバイザー契約を締結した日本初となる「銀行保証付地域オープン型医療機関債」を発行します。

この先進的な取り組みと福岡青洲会病院のリニューアルオープンについてご紹介します。

日本初となる「銀行保証付地域オープン型医療機関債」の発行

医療機関債とは、病院・診療所などを開設する医療法人が設備資金の調達のために発行する証拠証券（借入金）のことです。医療機関債の発行には、厚生労働省のガイドライン上求められる一定の財務条項の基準等を満たすことが必要で、主に「銀行総額貸付型医療機関債」と「地域オープン型医療機関債」の2つのタイプがあります。

現在、発行されている医療機関債は、銀行が全額を引き受け（貸し付ける）銀行総額貸付型がほとんどです。

「地域オープン型医療機関債」は、病院職員や地域住民が引受人（貸付人）となります。今回の取り組みについては、この地域オープン型医療機関債に福岡銀行が発行に関する助言と元本保証を付与し、病院職員を対象に発行するものです。病院職員を対象とした発行は九州初、銀行



福岡青洲会病院リニューアルオープン完成予想図

が元本を保証するのは日本初の取り組みと思われます。

職員への福利厚生向上や経営参加の意識づけが目的

青洲会は、「地域オープン型医療機関債」をグループ職員約950人を対象に募集し、総額5千万円を資金調達します。医療機関債は、1口あたり数十万円、期間は5年間で、金利は国債より高めになる予定です。

この医療機関債の発行の目的は、

通常の銀行借入のほうが低い金利で調達できるところ、銀行が元本を保証する資産運用の機会を職員に提供することで、病院職員の福利厚生の向上や経営への参加意識を高めることが狙いです。

さらに、医療法人としては財務の健全性についての対外的アピールと開かれた病院経営を通じて医療法人自身のガバナンス統治能力を高める効果があります。

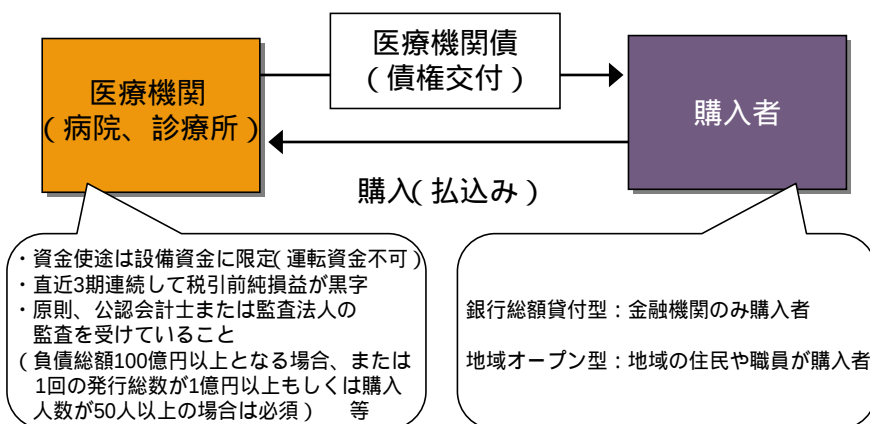


図 医療機関債の仕組み

（出所）各種資料により作成

Keyword

- * 1 心臓カテーテル検査
カテーテル（細いチューブ）を大腿の付け根、腕、手首などの動脈または静脈から体の中に入れ、血管に沿って先端を心臓までもっていき心臓の中の小部屋や血管を撮影したり、圧力を測ったりする検査をいいます。
- * 2 冠動脈形成術（PTCA）
心筋梗塞や狭心症の治療などで、胸部を切開することなく狭窄した病変部にカテーテル法を使って拡張する血管内の手術のことです。

2009年4月 福岡青洲会病院 リニューアルオープン

青洲会グループは、**特定医療法人財団青洲会**を中核に、病院、診療所、老人保健施設、特別養護老人ホームなど医療福祉施設を長崎県、福岡県、熊本県の3県に跨り広域展開しています。

今回、リニューアルオープンする福岡青洲会病院は、福岡県糟屋郡、福岡市東区、博多区の一部を診療圏とする213床の病院です。地域のリーディングホスピタルを目指し、特に**救急医療、脳卒中、循環器医療**の専門性の高い分野に注力しています。08年9月からは、**循環器センター**を開設し、24時間体制での心臓カテーテル検査^{*1}や冠動脈形成術^{*2}を初めとした救急対応をしています。

また、この病院の特徴は**開放型病院**^{*3}として認可されており、地域のかかりつけ医との連携のもと年間3,600件の紹介患者を受けています。

病院のリニューアルで、患者様へのアメニティを高めると同時に、最先端の医療機器として、**3.0テスラMRI**

RI(磁気共鳴イメージング装置)や64列マルチスライスCT(コンピュータ断層撮影装置)などを導入します。

3.0テスラMRIは、脳の断層撮影で血管の細かい部位まで鮮明な描写が可能で、血管の狭窄(つまり)や小さな動脈瘤の検出など脳血管疾患の画像診断に効力を発揮します。

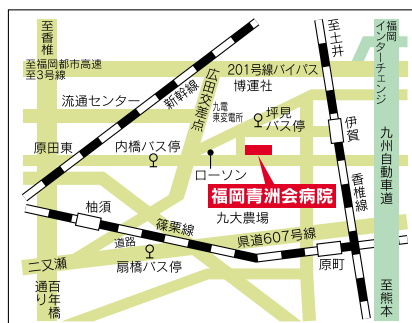
マルチスライスCTは、8列、16列、32列、64列などの種類があり、列数が多いほど高性能とされています。64列の導入により、検査時間が大幅に短縮するとともに、鮮明な3D画像で検査の精度も高まります。このCTは、特に心臓領域に効果的で心拍数が不整であっても、ほぼ正確に冠動脈の狭窄度を検出することが可能です。今回の医療機関債により集めた資金は、このCTの購入資金の一部に充てます。

リニューアルを通じて、地域の中核医療機関として、さらに質の高い医療の提供が可能となります。

(松野 浩介)



64列マルチスライスCT



病院地図

青洲会グループの主な沿革

- 1984年 長崎県平戸市にて青洲会病院開設(100床)
- 1987年 医療法人青洲会認可
- 1993年 老人保健施設ひらどせと開設(100床)
- 1993年 特定医療法人^{*4}認可
- 1993年 福岡青洲会病院開設(213床)(福岡県糟屋郡粕屋町)
- 1999年 青洲会クリニック開設(福岡県糟屋郡志免町)
- 2005年 鹿町福祉村開設
介護老人保健施設つつじの郷(55床)
社会福祉法人陽光長崎
ケアハウスかしの木(20床)(長崎県北松浦郡鹿町町)
- 2005年 天然温泉施設・河内福祉村開設
社会福祉法人陽光
介護老人福祉施設みかんの丘(50床)(熊本県熊本市河内町)

福岡青洲会病院の概要

開設年月 1993年12月
所在地 福岡県糟屋郡粕屋町長者原800-1

診療科目

内科、外科、循環器内科、脳神経外科、整形外科、呼吸器内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、人工透析内科、血管外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、形成外科、胸部外科、アレルギー科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、救急科、麻酔科

病床数 213床

職員数 330名

併設

訪問看護、訪問介護、通所リハビリ
通所介護、居宅介護支援事業所
訪問リハビリ、歯科クリニック

主な施設

手術室4室、救命救急室2室
人工透析センター30床
リハビリテーションセンター
ICU(集中治療室)8床
CCU(冠動脈疾患集中治療室)6床

ホームページアドレス

<http://www.seisyukai.jp>

Keyword

*3 開放型病院

地域内における医療連携のため、地域のかかりつけ医や診療所での通院治療と病院での入院治療を一貫して効果的・継続的に実施することを目的とした厚生労働省告示の施設基準を満たす病院です。特に、専用の開放病床を有する事が義務付けられており、かかりつけ医と共同で診療に当たります。

*4 特定医療法人

財団または持分の定めのない社団の医療法人のうち、その事業が医療の普及及び向上、社会福祉への貢献その他公益の増進に著しく寄与し、かつ、公的に運営されていることにつき政令で定める要件を満たすものとして国税庁長官の承認を受けた医療法人をいいます。

『大連チャレンジショップ』の開設

～中国でのパートナーの発掘・販路拡大を希望する皆様へ～

中国東北地区の玄関口「大連」

世界的に景気が減速する中、依然高い経済成長を続ける中国の存在感が高まっています。しかし、高い成長率を続ける中国といっても、地域・都市によってビジネス環境や市場規模、所得水準などが異なるため、ビジネスのターゲットを慎重に見極める必要があります。

上海や北京では、世界中の企業がひしめき合い、中堅・中小企業にとっての参入ハードルは必ずしも低くないといわれています。

各種都市ランキングにおいて総合実力第7位の大連は、親日派が多く、しかも日本語を話す中国人が多い地域として知られています(表1)。また、最近では、総人口が1億人を超える東北3省(遼寧省・黒龍江省・吉林省)を後背地にもつ大連を東北の玄関口として捉え、中国ビジネスの足がかりと位置づける日本企業が増えています。

表1 各種都市ランキング

順位	総合実力	商業都市	投資環境	BPO()
1	上海	杭州	上海	バンガロール
2	北京	上海	北京	マニラ
3	深セン	南京	深セン	ニューデリー
4	広州	無錫	大連	ムンバイ
5	天津	蘇州	蘇州	大連
6	南京	北京	杭州	上海
7	大連	広州	広州	北京
8	杭州	寧波	青島	シドニー
9	瀋陽	大連	成都	ブリスベン
10	ハルビン	佛山	寧波	オークランド

(出所) 日本貿易振興機構「ジェトロ」資料

BPOとは、Business Process Outsourcing(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)の略。自社のビジネスの一部を外部委託し、業務の最適化を図ることをいいます。



大連チャレンジショップを開設

このように大連から中国ビジネスの展開を希望する企業へのサポートの一環として、北九州市が中心となって2009年5月に開設する「大連

表2 大連チャレンジショップの概要

名 称	日本北九州商品展示販売センター
期 間	2009年5月24日～2011年9月(予定)
場 所	大連心悦大酒店(大連市内のホテル)
募集数 (棚スペース)	60スペース 工業製品等: 幅50cm×高さ100cm 食品・雑貨: 幅50cm×高さ50cm×奥行き50cm
機 能	現地スタッフが出品品の紹介を通して中国市場でのニーズ調査を実施し、情報を出展者へ還元
出展対象	【工業製品等】PRパネルの展示など 【食品・雑貨】小売販売(食品については、大連の日本食スーパーにて一部販売)
出展料 (税込) (1スペースあたり)	北九州市内の企業: 7,000円/月 ¹ 北九州市外の企業: 15,000円/月 ² 1 北九州商工会議所会員: 5,000円/月 2 FFG3行のお取引先: 12,000円/月(左記条件に加えて、北九州商工会議所会員の場合は10,000円/月)
初回登録料 (税込)	10,000円/社・人 ³ 3 北九州商工会議所会員: 無料
出展期間	6ヵ月単位

【出展の条件】

- ・物流費用や諸税、検査費用などは出展者のご負担となります。
 - ・食品、雑貨については商品の無償提供が必要となります。
- 詳しくは、文末の【お問合せ先】までご連絡ください。

チャレンジショップ」に、ふくおかフィナンシャルグループとして参加することになりました（表2）。

通常の展示会では1日もしくは数日間の商談やPRに限定されますが、このチャレンジショップでは、「大連はじめ中国ビジネスをこれから目指す企業」や「既に中国ビジネスは手がけており東北地区への拡大を希望する企業」などが、6ヵ月以上の期間にわたってテストマーケティング拠点としてご利用いただくことを目的としています。

5月24日の正式オープンに向けて、現在、第1次募集（5月～10月までの出展）を行っていますが、出展申込企業の業種別内訳は以下のとおりです。

（3月5日現在）

工業製品のPRパネルの展示	47%
食品の展示販売	32%
雑貨の展示販売	21%



大連チャレンジショップを設置する大連心悦大酒店

大連チャレンジショップの3つの特徴

①初期費用を軽減して中国ビジネスに取組める

自社での拠点設置や人員配置の必要がなく、初期費用を軽減して現地ニーズの調査や商談先の発掘が可能になります。

②現地営業スタッフが対応

大連チャレンジショップの運営委託先の日本語対応が可能な営業スタッフが、出展者に

代わって出展品のPRや営業活動を行い、現地での反応や情報を出展者へ還元します。

③運営委託先が小売販売を代行

食品・雑貨については、現地営業スタッフによるPRや営業代行のほか、チャレンジショップ内にて小売販売を行い、バイヤーや消費者の反応を出展者へ還元します。

前段で3つの特徴について説明しましたが、具体的には、工業製品分野では、チャレンジショップ内に自社の製品や技術を紹介するパネルやパンフレットを展示し、運営委託先の営業スタッフが来場者へ説明するほか、ターゲットとなる現地企業を訪問の上、説明を行います。

一方、食品・雑貨分野では、ターゲットとなる現地企業へのPRに加え、サンプル品を広く配布し中国での簡単なニーズ調査を行います。さらに、食品については、今年2月28日に新規開店した大連の日本食専門スーパーにおいて実際に販売いたしますので、消費者の反応を直接探ることもできます。

ふくおかフィナンシャルグループの海外ビジネスサポート

ふくおかフィナンシャルグループでは、福岡銀行の海外拠点として大連、上海、香港に駐在員事務所を設置しており、現地情報のご提供や専門機関・企業のご紹介など、皆様の中国ビジネスをサポートいたしております。

今回ご紹介しました大連チャレンジショップ以外にも、大連市との共催による「大連商談会（5月25日）」や「深セン（広東省）交流会」、「上海商談会（7月16日）」なども予定しておりますので、是非ともご活用下さい。

（長田 修一）

【お問合せ先】

（株）FFGビジネスコンサルティング

担当：長田 TEL：092-723-2244

渡辺 TEL：092-723-2576